

もりやまあるあるかるたのイメージイラスト展

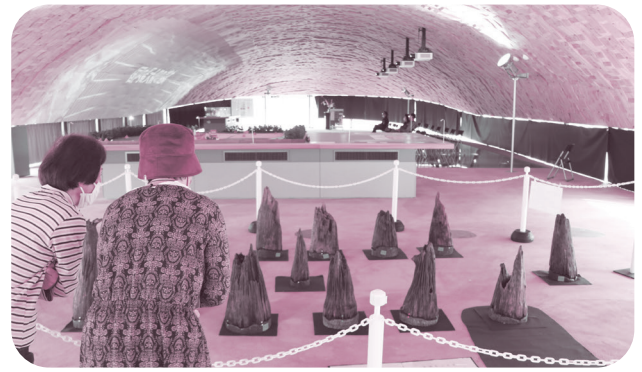


もりやまあるあるカルタ制作で 守山の歴史や文化、名所などの魅力を発信

守山の魅力を発信し、子どもたちに郷土愛を育ててもらおうと、7月に完成を目指す「もりやまあるあるカルタ」の読み札と取り札イラストサンプルが展示されました。守山の特徴や名所をモチーフにした作品が並び、訪れた人は「上毛かるたのように、多くの人に愛されるようになるといいですね」と話していました。

2月12日～18日 | 駅前総合案内所

「祭殿」の柱根の里帰り展示会



伊勢町で発見された大型建物「祭殿」の柱根 約30年ぶりに里帰り

伊勢遺跡から発見された独立棟持柱付建物跡の柱根が、約30年ぶりに里帰りしました。伊勢遺跡は弥生時代後期の大規模な遺跡で、方形区画内の大型建物群と楼観を中心に、祭殿とみられる大型建物が弧を描くように見つかっており、クニの成り立ちを知るうえで重要な遺跡として国史跡になっています。訪れた人は、古代ロマンに思いをはせていました。

1月14日～2月25日 | 伊勢遺跡史跡公園

「大きくなあれ」ジャガイモ植え



植えた種イモにふとんをかけて 「大きくなあれ」のおまじない

守山保育園の3・4歳児49人が、学習畑でジャガイモの種イモを植えました。勝部営農クラブのおじいさんに植え方を聞き、園児たちは半分に切った種イモを丁寧に植えて土のふとんをかぶせました。もみ殻をかけた後、みんなで声を合わせて「大きくなあれ」とおまじないをかけました。

2月29日 | 守山保育園 学習畑

びわスポキッズフェスティバル



大学生キッズリーダーがスポーツで交流 スポーツの芽を育む

子どもたちの体力と運動能力の向上を目指して、びわこ成蹊スポーツ大学が開催し、4歳児～小学3年生の244人が参加しました。子どもたちは、県成年男子強化拠点チームの学生によるバレーボールを観戦した後、運動指導を学ぶ大学生キッズリーダーと一緒に跳んだり、投げたり、走ったり、さまざまな楽しい運動で思いっきり体を動かしました。

2月25日 | 市民体育館



守山市の人口

令和6年2月29日現在
(前月比)

人口	85,839 (+ 20)
男	42,257 (+ 3)
女	43,582 (+ 17)
世帯数	34,937 (+ 37)

〇このなんともかわいらしくほんわかした俳句が浮かぶ。詠まれたご本人も大変チャーミングなお方▼うっふかかってなんだうこれはありなのかつざわざわする学生をよそに、三つかかんと笑った教授のしたり顔は忘れまい。この甘納豆シリーズは12カ月そろっているの、知っていただければと思つ▼さて、現美の3月は、春に向けて業務の締めにかかると忙しい時期である。もちろん、そんな中でも能登半島地震に伴う職員の被災地派遣は続いている。業務のやりくりは厳しいが、助け合いへの思いは、強く、熱い▼困っている人がいたら助ける。しんどさや困難は分け合ってなんぼ。それでこそ市役所。今日も文書やデータと格闘しながら、甘いものでほっとひととき▼うっふかか



双眼鏡

〇三月の甘納豆のうっふかか心(俳句：坪内稔典)